’99　ジムカーナグランプリ　第４戦

北海道 GP　　開催レポート

今、人気のモータースポーツ・ジムカーナで、全国各地を転戦しながらポイントを争う『 ジムカーナグランプリ 』が、去る ６月２０日に北海道は札幌市で開催されました。

このGRA企画のイベントは、バイクを必要以上に改造するのを制限しており、普段乗っているままのバイクで誰でも気軽に参加ができて楽しめるのが特徴です。また、参加者全員で運営も手伝い一緒になって運営を進めるから、各地から集まった仲間とも打ち解け易く、とても人気のあるシリーズ戦です。今回の『北海道GP』は、開幕戦の沖縄GPから愛知GP、香川GPに続く、シリーズ第４戦目で、北海道のライダーが参加しただけでなく、本州からも１６名の参加者があり、熱いタイム争いが繰り広げられました。

ジムカーナとは、毎回新しいコースが当日発表され、そのコースを１台づつスタートして間違えずにゴール迄走りきり、その間のタイムで順位を競うスポーツです。コースを覚えるのがまず大切な事です。しかし、今大会はコースの路面状況が本州方面の路面よりも滑りやすく（アスファルトの成分が違うらしい）、いつも以上に冷静さと恐怖心を克服する必要があって大変そうでした。
２回しか走れないタイムトライアルで立派な結果を残せたのは、やはり日頃から充分に練習をしている人や、経験が豊富なベテラン勢でした。しかし北海道の選手達の中にも本州の選手達に劣らない、暑い走りを見せてくれる選手もおり、今後の活躍が楽しみでした。

また、主催者側である㈱中央バス自動車学校の先生方が、スタッフとしてこの大会を盛り上げ、先生方の作った北海道名産ほたてのバター焼き、イカ焼き、ジンギスカンも大変好評でした。

第５戦は７月の北海道ＧＰ、第６戦・８月の長野ＧＰ、そして第７戦・九州GPと、日本列島縦断の計８戦でジムカーナグランプリは繰り広げられ、スポット参戦も可だから、君も参加してみよう！

「北海道ＧＰ　各クラス別入賞者」

Ａクラス	１位	黒田　光浩	スパーダ	1’35” 662
	２位	神野　秀樹	VFR750K	1’38” 086
	３位	佐藤　恭穂	CB400SF	1’42” 081
Ｂクラス	１位	歌代　薫	ホーネット600	1’58” 704
	２位	梅沢　美和子	ホーネット600	3’00” 423
	３位	該当無し		
Ｃクラス	１位	本多　弘明	KSR2	1’46” 788
	２位	大東　正寿	CB400SF	1’49” 319
	３位	多賀　俊介	ZRX1100	1’53” 264
Ｄクラス	１位	津垣　正仁	XJR1200	1’39” 744
	２位	永原　義幸	CBR600F	1’42” 651
	３位	宮城　真一	ZRX1100	1’43” 755
Ｅクラス	１位	小林　裕之	ブロスＰ1	1’28” 690
	２位	吉岡　輝顕	KSR2	1’32” 726
	３位	上杉　智司	ブロスＰ1	1’33” 843

ジムカーナ文化を創造する
GRA Gymkhana Riders Association